



# 会報

## 笑てん会

加古川中央市民病院が  
んサロン「笑てん会  
(わろてんかい)」は、  
がん患者さんとその  
家族が、体験を語り  
合いお互いに癒され  
る場をつくることを  
目的にとして平成29  
年7月に発足しまし  
た。

「笑てん会」という  
会の名称は、がんに  
なっても、自分らし  
く笑って生きようと  
いう意味が込められ  
ています。



## 勉強会の様子

第7回は「リンパ浮腫への  
の対応」というテーマで、  
リンパ浮腫療法士より講  
義があり、13名が参加さ  
れました。どれくらいま  
でなら重い物を持ってい  
いのか、湿布を貼ってい  
いのか等、具体的な内容に  
ついて理解を深めること  
が出来ました。

第8回は「がん治療と  
仕事について」というテー  
マで、社会福祉士より講  
義があり、13名が参加さ  
れました。治療による仕  
事の継続や、治療終了後  
の就職活動に困難があり  
がん患者が声を上げて社  
会を変えていく必要性が  
あると話し合いました。

第9回は「ストレスとの  
付き合い方」というテーマ  
で、精神看護専門看護師  
より講義があり、6名が  
参加しました。音楽をか  
けて皆で呼吸法を実践し  
ました。温かい飲み物を  
飲んだり、本や聖書の言  
葉を振り返るようにして  
いるなど、参加者の皆さ  
んが普段リラックスのた  
めに行っていることを話  
し合いました。

## 交流会の様子

交流会では、参加者の  
方が「再発の不安はいつも  
あるが、考えても仕方な  
いことは考えずに毎日を  
生きるようにしている。」  
と話して下さいました。  
また、告知されたときの  
「自分の親に伝えるのがつ  
らかった」というお気持ち  
を話して頂き、告知にま  
つわるつらさを共感しま  
した。ある方は、つい病氣  
のことばかり考えがちに  
なってしまうけれども、考  
える順位を下げるような  
ことが必要だと本に書い  
てあったと紹介して下さい  
り、つらい気持ちを抱えて  
生きていく中で、どうやっ  
て気持ちの整理を行って  
いくかを話し合いました。

仕事のことでは「病名を  
職場に伝えたら辞めてほ  
しいと言われた。悔しいの  
で必死に情報を集めて勤  
め続けた。」という方もい  
て、社会に対して訴えてい  
く必要があることも分か  
りました。

参加者の方が主催され  
ている加古川の教会での  
「がん哲学カフェ」の案内  
もあり、院外での取り組  
みにも興味深々でした。

### 2019年度 勉強会の予定/講師 (変更する可能性もあります)

4/16	ピアサポートの効果/がん看護専門看護師	10/15	リンパ浮腫への対応/リンパ浮腫療法士
5/21	生活の場所について考えよう /緩和ケア認定看護師	11/19	がん治療と仕事について/社会福祉士
6/18	免疫治療のお話/腫瘍・血液内科医師	12/17	ストレスとの付き合い方 /精神看護専門看護師
7/16	がんの痛みのお話/緩和ケアチーム医師	1/21	笑いとユーモア/がん看護専門看護師
8/20	食べられない時の食事の工夫/管理栄養士	2/18	抗がん剤治療を「しりたい」 /がん化学療法看護認定看護師
9/17	生活の中での運動/作業療法士	3/17	がん治療とお口のケア/歯科衛生士